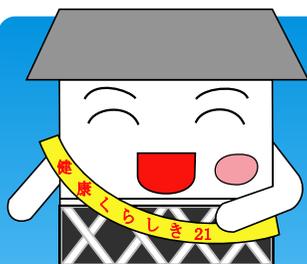


平成25年度保健師中央会議  
保健師の活動を支える体制の整備  
について  
～倉敷市の取り組み～

倉敷市保健所保健課  
中野 宏子





# 倉敷市を紹介します。

H25年5月末現在

人口	483,014人
世帯数	199,762世帯
高齢化率	23.7% (H25.3末)



岡山県南の中核市(H14年～)

## 【各地区の特徴】

倉敷地区…文化観光の町

児島地区…繊維の町

水島地区…工業の町

玉島地区…果物が特産の町

真備地区…竹の子が特産の町

(平成17年合併)

# 倉敷市保健師の現状

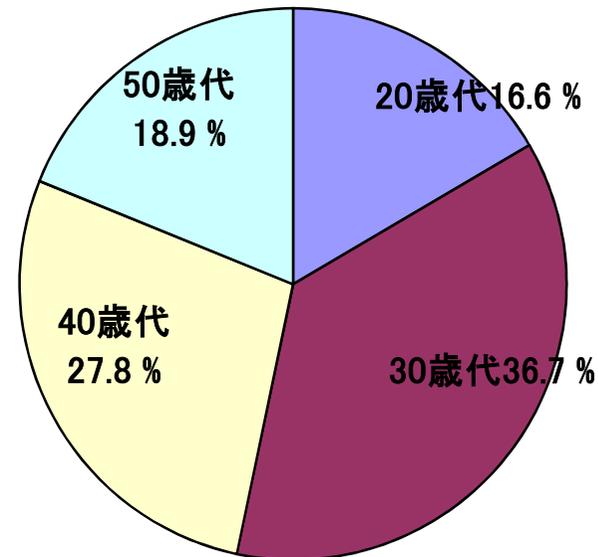
平成25年度

- 保健師数 90人

- 保健師の担当人口  
一人当たり  
5,957人

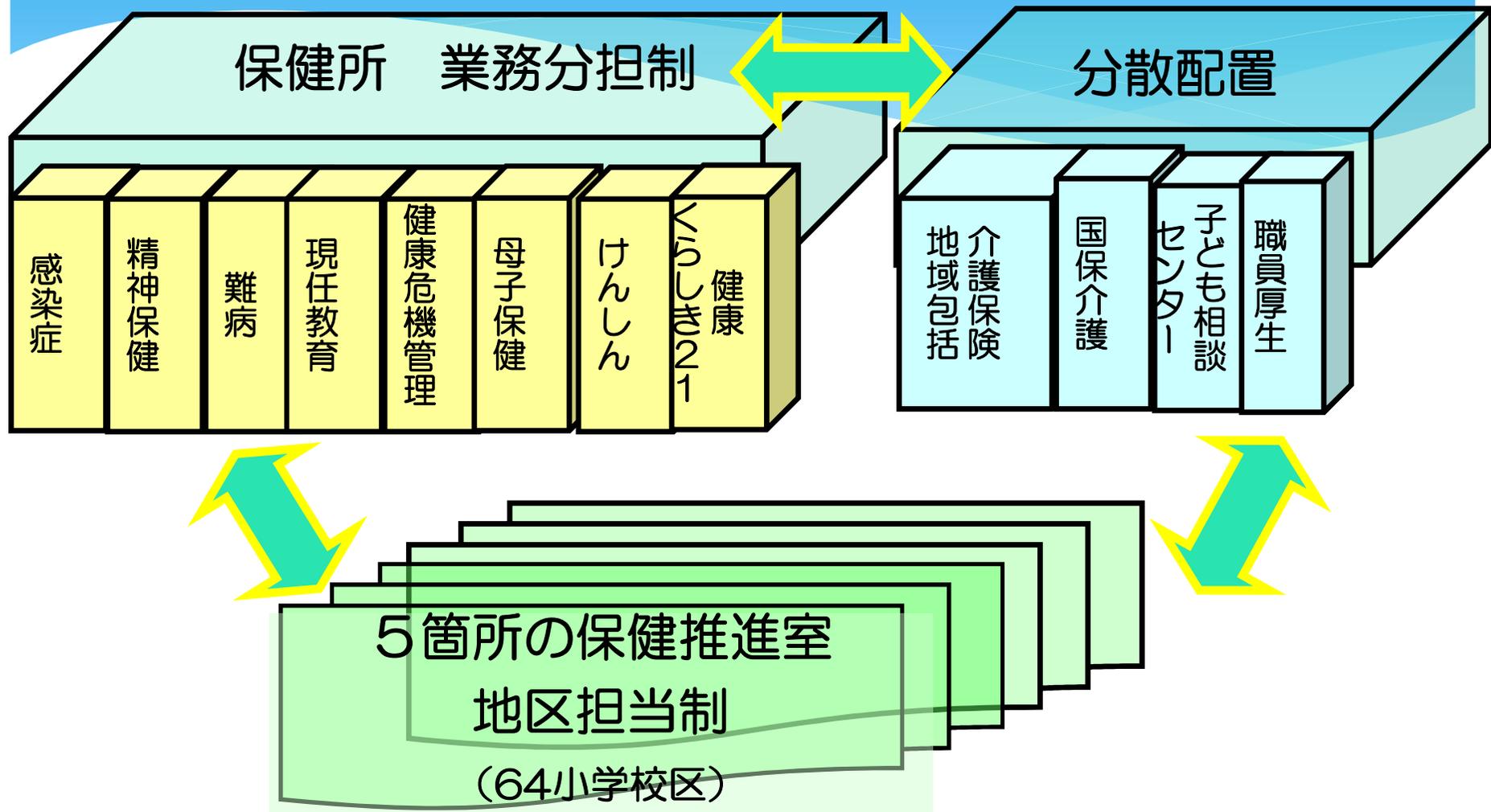
- 活動体制  
地区担当制と業務分  
担制の重層型

H25年度 保健師の年代別構成割合(%)



平成25年度保健師の年代別割合

# 倉敷市の業務体制と分散配置状況



# 倉敷市保健所組織改革をチャンスに 保健師の課題を明確に

**つぶやき！**  
何から取り組んだらいいの  
だろう??

人材育成の体  
系化ができてい  
ない

保健師間のつ  
ながりが希薄化  
している

庁内保健師の  
ネットワークが機  
能していない

保健師の人事  
に保健師が関  
与できていない

健康危機管理  
体制の強化

# 倉敷市における保健師活動を支える基盤 整備のための取り組み

保健師の力量アップに向けた取り組み…  
体系的な人材育成

保健師間の連携強化の取り組み（分散配置を  
チャンスへ）

計画的なジョブローテーション

統括保健師の位置づけ

**つぶやき！**  
私なりに整理し、  
優先順位をつけては  
みたけど??

# 保健師の力量アップに向けた取り組み

## 体系的な人材育成

- \* 人材育成ガイドラインの作成  
自分たちのガイドラインとするため現任教育と連動した取り組み  
平成22年度倉敷市保健師人材育成ガイドライン検討会開催  
⇒平成23年3月倉敷市保健師人材育成ガイドライン完成
- \* 現任教育の充実  
新任期研修会・年代別研修会開催・領域別研修会
- \* 厚生労働省への派遣  
平成19年度～平成22年度まで2年間ごと2名を派遣
- \* 他の自治体との人事交流  
平成16年～平成22年度まで2年間ごとの6名を派遣
- \* 調査研究の推進  
所内における研究事業成果発表会を開催(年1回)⇒学会発表へ

# 倉敷市の人材育成プログラム

## 年代別研修(22年度～23年度)

- ▼新任期研修(1～3年目)
- ▼クリスタル(中堅11～16年目)
- ▼パール(リーダー前期17～20年)
- ▼ルビー(リーダー後期21年以上)
- ▼ダイヤモンド(管理期)

## 領域別研修(24年度～)

- \* 母子領域研修(ひまわり)
- \* 成人・老領域(ゆずりは)
- \* 地域づくり領域(アイビー)
- \* ハイリスク領域(たんぽぽ)

### 【成果】

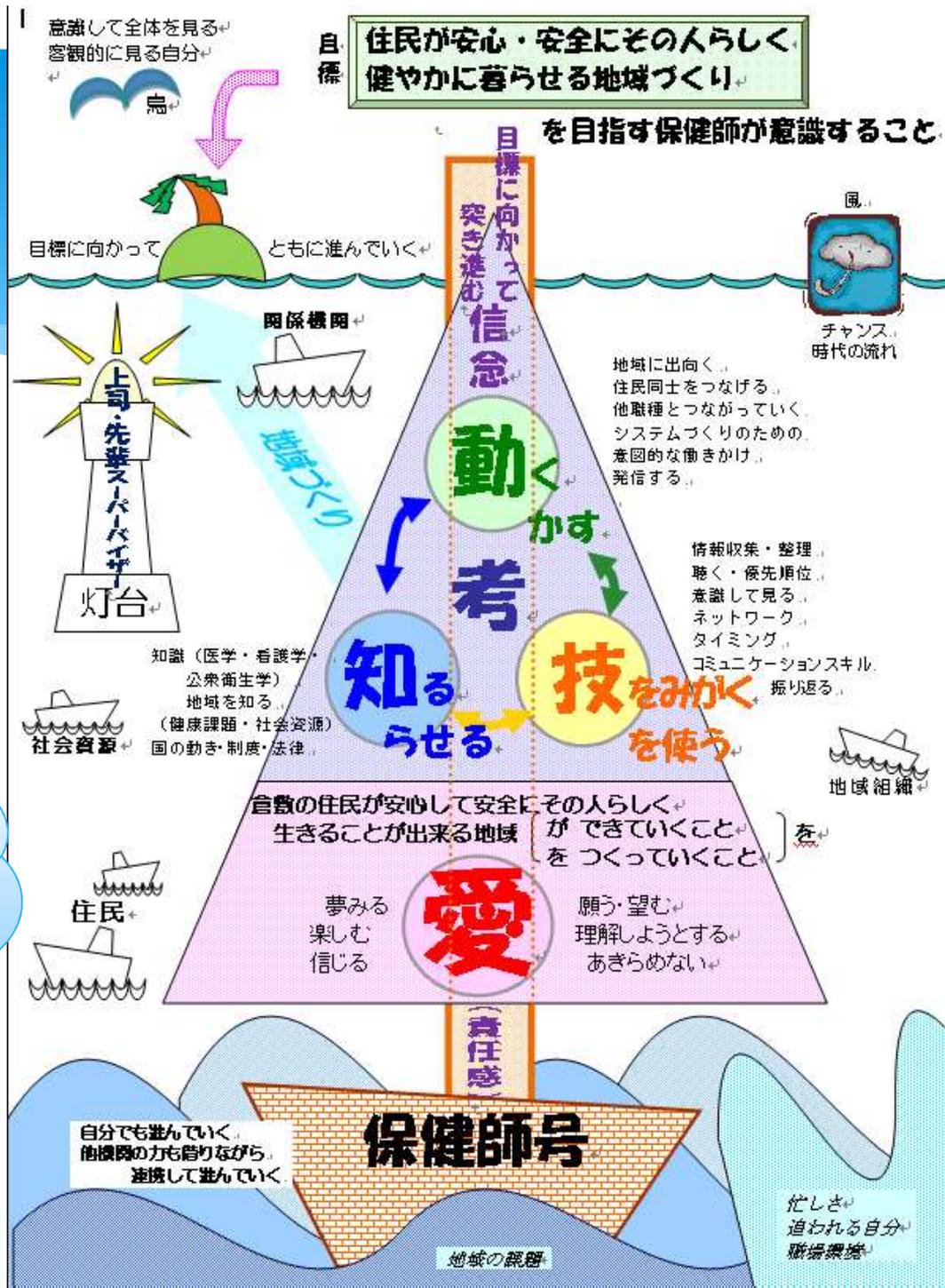
- ・世代間を超えての話し合いにより、自分の立ち位置の確認ができた。
- ・切り口は違うが目指すべき活動の本質は変わらないことの確認ができた。

工夫している点  
研修名！？  
各期から研修の成果物を  
提出してもらってます。

プロセス重視  
自分達の実践経験による  
自分達の言葉による  
理念の確認

# 倉敷市の 保健師活動の 目指すもの

つぶやき  
ブレない保健師活動  
を目指すために図式  
化してみました。



# 倉敷市保健師生き活き活動宣言書

## 保健師活動信念

倉敷市保健師は、全ての市民を対象とし、市民の生命、健康、生活を守るという信念を持っています。

つぶやき  
領域別研  
修会での  
成果物



## 保健師活動で目指すところ

一人ひとりの健康を守る力を引き出し、病気（障がい）や寝たきりになっても、生き生きと安心して過ごせる地域を市民と共に目指します。

## そのために、私たち保健師は

- 1) あらゆる保健活動を通じて地域の健康課題を明らかにし、市民と解決に向けて取り組みます。
- 2) 健康を損なわないための予防活動を常に行いながら、特に支援が必要な人には重点的に関わります。
- 3) 市民が自らの健康を守る力を高め、地域の人々と互いに理解しあい、支えあえる支援を行います。
- 4) 住民や関係機関等と連携した保健活動を行い、すべての市民が安全・安心な生活が送れるようなくみづくりを行います。

# 保健師間の連携強化のための取り組み

## (1) 業務分担と地区担当との情報共有の場

保健業務連絡会・業務担当者会議の開催し、企画部門と実践部門が目標を明確にし、保健師のベクトルの向きを同じにする

## (2) 分散配置保健師との情報共有の場

分散配置保健師との連絡会議を開催

## (3) 主任ミーティング

主任級の保健師と統括保健師が地域の状況やスタッフの人材育成の困難さなどを話合う場

## (4) 自主勉強会や交流会の開催

保健師同士が育ちあい、世代を超えて交流する場の提供

## 分散配置保健師の声から

# 分散配置保健師は見た！感じた！

- 保健師仲間が少なく、**相談相手**がいなくて不安である
- 福祉領域や介護領域の保健師として**予防的なアプローチ**の重要性を痛感
- 福祉領域からの介入では限界があり、**地域活動のベースがある**保健領域からの介入に期待
- 保健師が地域へ根を張ることの意義は、サービスを使っているから関係ないでなく、**地域のつながり**を持たせることが役割
- 他職種に進出により、**保健師は今一度役割を再認識を。**

# 分散配置保健師の声から 分散配置保健師として頑張るため

- 保健師仲間がバックにいるのだと実感できる
- 相談できる保健師がいる
- 保健師として視点は、どの所属でも同じ、分散配置保健師からの発信を地域の健康問題・市民ニーズとしての場
- 保健領域と補完しあう、任せ・任せられる関係づくり
- 長期配置でなく、ジョブローテーションできる
- 仕事のなすりあいではなく、保健師のベクトルを同じにする話し合い
- 研修などにより保健領域の活動や取り組みがみえる

# 分散配置保健師との連絡会議のあり方

- 倉敷市保健師全体のベクトルを同じにする建設的ディスカッションにして、保健師としてブレない活動にしよう！
- 保健師領域への期待、保健師の強み、弱み、保健師集団だからよかったことを分散配置の保健師から聞こう！
- 部署の違いによって活動のやりにくさは何なのかを考えよう！
- 保健師が福祉領域や保険領域、人事などに配置されていることを保健師としての武器にしよう！
- 各分野の保健活動を客観的にみてみよう！
- 市民にとって最良の支援・ケア・関わりを行うことを目指そう！



年2回開催(必要時には開催)

ときには、アフターファイブの交流会を開催

# 倉敷市の取り組み成果

## ➤ 保健師の増員

平成13年度保健師数69人⇒ 現在90人

## ➤ 体系的な人材育成

倉敷市保健師人材育成ガイドラインの作成  
ガイドラインをもとに研修を開始

## ➤ 健康危機管理の強化

災害時公衆衛生活動指針の作成

健康危機管理初期対応マニュアルの大幅改正

## ➤ 統括保健師の人事への関与

計画的ジョブローテーションができる体制

部署を横断した保健師活動ができる体制

## 最大の成果は・・・

倉敷市の保健師は、いきいきと元気に日々活動している姿が見られるようになった。

⇒若い保健師は、地域に出るようになってます。

⇒中堅保健師は、課題に対して自分たちのこととして、議論できるようになってきている。

⇒リーダー期保健師は、自分の役割を認識し、行動できるようになってきている。

◎それぞれの年代の保健師の**持ち味**を活かした活動や自分の**立ち位置**を認識してきている。

つぶやき  
後輩保健師  
の声です...

# \* 統括保健師の役割って

- \* 保健師活動の伝承など人材育成を図る  
⇒ 後輩を育てる
- \* 現状分析をおこない、そこから見える課題に対して解決の道筋をつける
- \* スポークスパーソンとしての役割  
保健師からの発信
- \* 保健師活動の方向づけと活動目標を明確化し、浸透させること（旗振りも）
- \* 所属を超えての保健師活動を考える
- \* ネットワークによる情報収集に努める

風光明媚な  
瀬戸大橋と  
夕日です



ご静聴ありがとうございました。

▲こころの健康づくり  
マスコットキャラクター  
「ほっとちゃん」

